

## 心理統計法 ('17) 一有意性検定からの脱却― 印刷教材の追加修正

お手元の修正対照表に載っていない、追加修正示します。お手数をおかけし申し訳ありません。有益なご指摘を下された方々に御礼申し上げます。

### 第1章

p.  
誤:  
正:

### 第2章

p.  
誤:  
正:

### 第3章

p.50,  
6行目から9行目にある6箇所の % をトルツメ  
10行目  
誤: 本書では  $\alpha = 5\%$  として  
正: 本書では  $\alpha = 0.05$  として  
p.52, 8行目から11行目にある6箇所の % をトルツメ

### 第4章

p.69 下から4行目（英訳の修正と略語の追加）  
誤:

の EAP(平均値) は、研究仮説が正しい確率 (probability research hypothesis is true) を与える。

正:

の EAP(平均値) は、研究仮説が正しい確率 (PHC, probability that research hypothesis is correct) を与える。

### 第5章

p.  
誤:  
正:

### 第6章

p.  
誤:  
正:

### 第7章

p.  
誤:  
正:

### 第8章

p.136 表 8-5 2行目  
誤:  $\pi'_{10}$   
正:  $\pi'_{10}(\text{EQU})$   
p.136 表 8-5 4行目  
誤:  $\pi'_{10}$   
正:  $\pi'_{10}(\text{DEF})$

## 第 9 章

p.153 下から 9 行目

誤: 求めた乱数である。ここでは

正: 求めた誤差標準偏差である。ここでは

## 第 10 章

p.159 8 行目

誤:

交互作用は添え字  $i$  と  $j$  の両方に関して和が 0 であるという制約を入れ

正:

交互作用は添え字  $j$  と  $k$  の両方に関して和が 0 であるという制約を入れ

## 第 11 章

p.

誤:

正:

## 第 12 章

p.

誤:

正:

## 第 13 章

p.

誤:

正:

## 第 14 章

p.

誤:

正:

## 第 15 章

p.248 1 行目

誤: 母数  $a, b_1, \dots, b_p, \sigma_e$  の事後分布を求める。

正: 母数  $a, b_1, \dots, b_p$  の事後分布を求める。